



児嶋喜彦

Q：静岡市では4年連続4月時点で待機児童ゼロであるが、年度途中の入園は難しくなっている。年度途中の待機児童増加の要因とその解消に向けてどのような取り組みを行っているのか。

A：要因としては、育児休業明けなどにより、入所を希望する乳児が年度途中から増加することや、地域によって見込みを上回ることが挙げられる。取組みとしては、0～2歳の受入枠拡大、小規模保育事業所の新設、私立幼稚園の認定こども園移行、既存保育施設の設定員増などを実施している。



宮城島史人

Q：本年9月の中部横断自動車道（静岡～山梨間）全線開通を見据えた観光振興について、どのように取り組んでいくのか。

A：甲信越地方から来訪者を増やすチャンスであり本市への関心や観光需要を高めていくためには「誰に・何を・どのように」伝えるかが重要だと認識している。ターゲットの中心である「ファミリー層」や「アクティブシニア」向けの情報（観光、宿泊、体験）を多方面から積極的に発信していく。また教育旅行の誘致も官民連携で進め、事業者・教育委員会・旅行会社に対し本市から働きかけを行い、受け入れ環境を充実させて経済効果を確実に取込んでいく。



小山悟

Q：静岡市の今後の特別支援教育の方向性は。

A：障がいのある子どもが、障がいのない子どもと一緒に楽しい学生生活を送れるよう「インクルーシブ教育」の理念を具現化できる特別支援教育を進めていく。

Q：GIGAスクール構想について、通信環境の強化スケジュールと小学校低学年への配置計画はどうなっているか。

A：今年度中に小3児童分の学習用端末と指導者用端末整備を、R4年度には小1、2年生分の学習用端末を導入予定。通信環境は、安定したネットワーク環境下で端末を活用できるよう、今年度中にネットワーク工事を実施する。



特別委員会が決まりました

今期の特別委員会は新しく、ICTを活用した市民の安心安全の確保や市民サービス向上等を協議・検討する「デジタル社会推進特別委員会」と、静岡都心や清水都心、スポーツ施設整備等について協議・検討する「まちづくり拠点調査特別委員会」が設置されました。

デジタル社会推進特別委員会
小山 悟
中山間地調査特別委員会
宮城島 史人
まちづくり拠点調査特別委員会
児嶋 喜彦
総合交通政策特別委員会
◎ 後藤 哲朗

志政会 だより

しせいがい

令和3年7月発行

第24号

発行/静岡市議会 志政会
編集/志政会 広報部
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-653-3412
FAX 054-653-3412

静岡市の「危機管理対応力強化」についての申入れ
～ 新型コロナウイルスワクチン接種及び熱海市における土砂災害について ～

志政会は7月13日、田辺市長へ「危機管理対応力強化」について申入れを行いました。これは、新型コロナウイルスワクチン接種及び7月2日の熱海市における土砂災害を受けて行ったものです。

ワクチン接種については、スケジュール順守に向けた取組みはもちろんのこと、更なる変異株流行の懸念や、ワクチンの継続的な接種が必要となることから、今後活かせる体制づくりが不可欠です。



また、熱海市における土砂災害では、本市においても同じようなことが起こらないような対策、災害発生時の迅速な対応、また他都市への災害支援中において、本市の通常業務に支障をきたさない体制づくりが重要です。静岡市の危機に対する対応力を強化し、市民の不安を解消し安全安心な市民生活に繋げていくため、下記の内容を申し入れました。（詳細は会派ホームページに掲載しています）

リスクに強い体制づくりについて

危機に際し、市民の生活や地域経済を守り、地域を継続していくための体制づくりを強く求める。

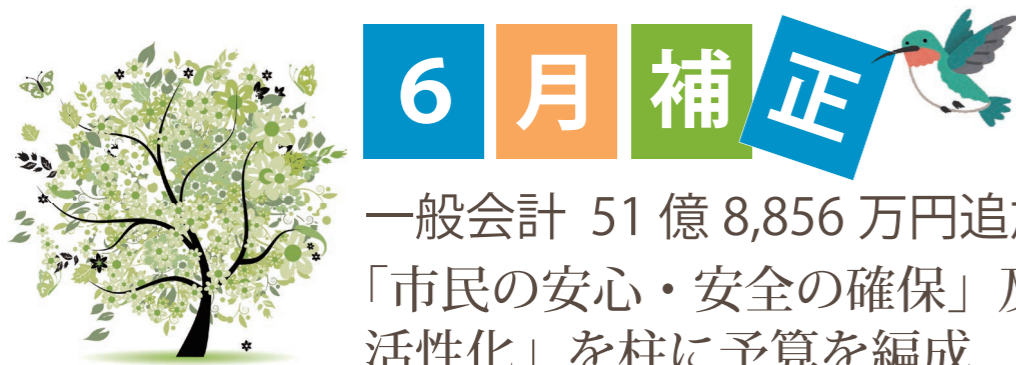
新型コロナワクチン接種について

- 市民へのわかりやすい情報発信力の強化
- ワクチン接種に関わる関係組織との連携強化
- 市独自の市内企業の職域接種に対する支援
 - 産業医の常駐していない中小企業などへの職域接種支援
 - 勤労者が接種しやすい平日 17 時以降や土日の接種体制強化
- ワクチン接種の強制や差別が起こらない様にする取組み
 - 日常的な啓発活動や相談窓口の強化
 - ワクチン接種のみならず、多くの誹謗中傷を防止するための条例制定の検討

熱海市の土砂災害を受けて

- 職員の災害地派遣に関すること
 - 災害地への応援派遣職員の健康管理
 - 派遣により危惧される通常業務の継続性の確保
- 熱海の土砂災害の調査研究と対策
 - 市内の対象造成地の迅速な調査と対策
 - 最終処分場を含め危険箇所の調査
 - 廃棄物不当投棄への厳正な対応
- 災害時における受援体制の強化
 - パンデミックを想定した他都市からの応援職員・ボランティアなどの受援体制の構築
- 緊急事態における情報に関すること
 - 特に避難情報発信の基準の明確化・情報発信の多重化
 - 被災情報や市民ニーズに関する情報収集の強化





6月補正 一般会計 51億8,856万円追加 「市民の安心・安全の確保」及び「地域経済の活性化」を柱に予算を編成

■新型コロナウイルスワクチン接種事業 … 40億9,900万円

65歳以上の高齢者へのワクチン接種を7月末までに完了させるため、必要な経費を確保する。市内に集団接種会場を増設するほか、コールセンターの運営体制を拡充する。



■モバイル決済サービスを活用した地元消費拡大促進事業 … 4億2,300万円

経済対策として、特定のモバイル決済サービスを利用すると、1回あたり支払額の20%を還元するキャンペーン（期間中の上限5,000ポイント）を10月に実施する。

- 【対象店舗】 対象のモバイル決済サービスを登録する店舗の内、大企業が経営する店舗を除く、小売、飲食、サービス業など
- 【還元率】 1回あたり支払額の20%（上限1,000ポイント）期間中の還元上限5,000ポイント



■県内マイクロツーリズム推進事業 … 1億円

遠方への旅行が制限される中、夏の観光需要を本市に取込むため、県民に向けたマイクロツーリズムの推進を図るキャンペーンを実施する。（実施期間：令和3年7月下旬～9月末予定）

1. 静岡市自慢の特産品プレゼントキャンペーン
市内を6エリアに区分し、複数エリアに宿泊した県民に本市の特産品をプレゼントする。
【エリア設定】 ①まちなか ②オクシズ ③丸子・用宗 ④清水 ⑤日本平・久能・三保 ⑥興津・由比・蒲原
【実施内容】 2エリア以上の宿泊者にもれなく本市の特産品をプレゼント（5千円相当の特産品とし1万人を想定）
2. 静岡市満喫アクティビティ割引キャンペーン
【割引対象】 各種企画乗車券、貸切タクシー利用料、体験プログラム等



■再就職緊急サポート事業 … 5,700万円

コロナ禍で離職した人を早期に就職に結びつけるため、再就職サポートを実施する。

【実施内容】



■清水駅東口周辺整備関連事業 … 7,240万円

昨年12月の協定に基づき、清水駅東口公園の一部とJCHOが清水区大内新田に所有する土地を交換するための測量や分筆登記を行う。また、公園のモニュメント、樹木等の移設及び公園施設の撤去を行う。

ワクチン接種のスケジュールが変更になりました



国からのワクチン供給量が減ったため、8/16～9/26の予約枠については、下記の6.9万人分となりました。

7/21現在

予約対象者	人数	予約方法	予約開始	接種開始
60歳以上未接種者	約3.4万	ウェブ・コールセンター	8/5	8/16
59歳以下の基礎疾患を有する方	約3.0万	まずは、かかりつけ医にご相談ください。 *かかりつけ医以外で接種を希望する場合等、予約システムを利用するためには事前申請が必要です。事前申請は7/29から市ホームページで受付開始します。		
障がい福祉サービス利用者施設従事者等	約0.5万	施設等を通じて予約方法をご案内します		

*上記以外の方は、国からのワクチン供給量及び予約状況に応じて、順次ご案内します。

*8月からの特設会場は「ツインメッセ静岡」「清水マリナターミナル」の2箇所が常設設置となり、今後多くの予約枠を確保していきます。開設曜日・時間については医師会との調整により7月中には決定していきます。それに伴い、これまでの集団接種会場についても会場数や開設時間の見直しを行っていきます。

*コールセンターの受付時間が7月3日より8:30～20:30に時間延長がされています。「静岡市新型コロナワクチンコールセンター」フリーダイヤル：0120-113-394

視察報告



志政会では、市内の現状と課題について会派内の認識を深めるため、現地視察・研修会を行っています。今回は特に清水地区の課題について調査を行い、三保地区・日の出地区・新興津地区の開発整備状況と今後の課題について、現地を確認しながら認識を深めました。



日の出地区開発について
現地視察



清水港の開発整備計画について研修



アセットマネジメントについて研修